

調書1 補助金等調査表（チェックシート）

所属 こども課

（1）補助金の内容

名 称	浦安市つどいの広場運営費補助金		
交 付 開 始 年 度	平成19年度	終了予定年度	
交 付 先	浦安市社会福祉協議会（平成25年度より）		
交 付 の 目 的 ・ 必 要 性	地域における子育て力の向上や、乳幼児親子の交流の促進を図るために運営団体が実施する、つどいの広場の開催に要する経費を補助する。		
対 象 事 業 の 内 容	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う「つどいの広場」を開設し、子育て等に関する相談及び援助の実施、地域の子育て関連情報の提供を行う。		
形 態	☒ 事業補助 ☐ 運営補助 ☐ 混合補助 ⇒ 割合が大きいのは ☐ 事業補助 ☐ 運営補助		
直 近 の 見 直 し 状 況	見直した時期	令和3年度	
	内 容	明海つどいの広場を市の施設とすることにより、つどいの広場運営費補助金の対象を堀江地区のみとした。	
交 付 申 請	受領書類	☒ 事業計画書 ☒ 収支予算書 ☐ その他（ 	
	確認内容	事業計画書、収支予算書により、補助事業等の目的及び内容が適正であるかを審査している。	
実 績 報 告	受領書類	☒ 事業報告書 ☒ 収支決算書 ☐ その他（ 	
	確認内容	実績報告書、収支決算書により、補助金交付決定の内容及びこれに付した条件に適合するかを確認している。	

補助金等調査表（チェックシート）

（２）補助金見直しの基本視点に基づく評価

（※具体的な根拠指標には、設問に対する評価根拠となる、成果等を示す数値的な指標を記載すること）

公益性	補助事業が、客観的に見て、より広く市民等に利益をもたらす、または還元されている。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		広く社会に利益をもたらす	市内で子育てをしている子育て家庭への支援として還元されている。
	補助事業の目的が、時代や社会情勢に合っている。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		ほとんど合っている	子育て家庭に対し、育児不安を解消できるようなきっかけを提供している。
必要性	補助金を交付する形で、市が関与する妥当性がある。	評価	「ある」→妥当性について記入。 「ない」→妥当性がないにも関わらず補助する理由を記入。
		ある	親子が交流できる場や子育てに関する相談、情報の提供は、子ども・子育て支援法第59条において、「地域子育て支援拠点事業」として実施することとされており、市が関与する妥当性がある。
	補助金がない場合、団体等は自主財源で事業を行うことができない。	評価	「できる」→自主財源で事業実施可能にも関わらず補助する理由を記入。 「できない」→補助金がないければ事業を実施できない理由・具体的な根拠を記入
		できない	求められる事業内容の実施には一定の経費を要するため、市が補助する必要がある。
	市民ニーズが高いものである。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		高い	未就学児の保護者2,000人へのアンケートにおいて、95.1%の方が満足と回答している。 利用者へのアンケートでは「親子で何年も通っている」「毎日利用しており、浦安駅前エリアには必要な施設」との意見をもらっている。
	市民ニーズに即している。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		即している	未就学児の保護者2,000人へのアンケートにおいて、95.1%の方が満足と回答している。 利用者へのアンケートでは「親子で何年も通っている」「毎日利用しており、浦安駅前エリアには必要な施設」との意見をもらっている。
	補助金の意義について、的確に説明できる。	評価	「できる」→誰に対しどのような効果があるか等について記入。 「できない」→説明できない理由について記入。
		できる	つどいの広場は、乳幼児及びその保護者に居場所を提供するとともに、子育てに関する情報交換の場にもなっている。常設型であることから、利用したいときに気軽に利用することができ、育児不安・負担の軽減に寄与している。
	補助期限（終期）を設定している。	評価	「設定済」→設定年度とその根拠を記入。 「未設定」→設定しない理由と今後の見通しを記入。
		設定済	堀江つどいの広場運営団体公募型プロポーザルにおいて、令和5年度までの履行期間として協定を結んでいたが、子どもの居場所づくりと相談体制拡充の検討に、柔軟且つ速やかに対応するため、暫定的に令和7年度末まで延長している。
	補助金申請に係る積算根拠が明確である。	評価	「はい」→積算根拠を何で確認しているかを記入。 「いいえ」→積算根拠が不明確である理由と今後の見通しを記入。
		はい	事業計画書及び収支予算書により確認している。

補助金等調査表（チェックシート）

施策との整合性	当該補助金は、市の政策目的や施策と整合している。	評価	「している」→どのような点で整合しているのか記入。 「していない」→整合していないにも関わらず補助する理由を記入。
		している	第3期浦安市子ども・子育て支援総合計画において「地域子ども・子育て支援事業」として掲載している。※子ども・子育て支援法第59条における地域子育て支援拠点事業。
	補助事業が本市の特性を生かした取り組みである。	評価	「はい」→どのような点で特性を生かしているのか記入。
		いいえ	
公平性	事業を実施できる団体が他にない。（複数存在する場合、当該補助金がその事業者だけに交付される合理的な理由がある。）	評価	「はい」を選んだ理由
		はい	堀江つどいの広場運営団体公募型プロポーザルにおいて選定されている。
			「いいえ」の場合、補助金がその事業者だけに交付される合理的理由を記入。
	補助対象経費に対して、補助事業者等にも応分の負担を求めるべき事業には、一定の適切な補助率や限度額が設定されている。	評価	「設定済」→補助率とその根拠を記入。 「未設定」→設定しない理由と今後の見通しを記入。
		未設定	応分の負担を求める事業ではないため。 今後については、委託化についての検討をしていく。
効率性	補助目的に見合った成果や、施策実現に向けた効果がある。	効果の測定方法・具体的な根拠指標	
		例月の報告により、利用者数等を確認している。 浦安市子ども・子育て会議において、毎年度事業結果を報告している。	
		評価	評価理由
		十分効果をあげている	浦安市子ども・子育て支援総合計画において、市で算出した利用見込み量に対する確保方策の一つとして、十分に機能している。
	手法として、委託等の手法よりも、補助金を交付することがより合理的である。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		いいえ	業務委託を検討したが、事業の実施場所が市教育委員会の所管施設であることから、市の事業として業務委託できず、補助事業としている。
	国や県、本市において同様の補助事業がない。（※国県要綱に対し、上乘せ・横出しする補助事業は除く）	評価	「ある」の場合、同様な補助事業と両方存続させる理由を記入。
		ない	
補助対象経費の明確化	補助金対象内外経費が明らかになっているか。	評価	「はい」→何で確認をしているか記入。 「いいえ」→明確にしていない理由を記入。
		はい	浦安市補助金交付規則、浦安市つどいの広場運営費補助金交付要綱に基づき、事業報告書及び収支決算書により確認している。
	補助対象外経費を補助対象としていない。（対象としている場合は、明確な根拠を持っている。）	評価	「対象としている」の場合、費目及びその根拠規定と対象となる考え方を記入。（※費目とは、飲食費や慶弔費など）
		対象としていない	

補助金等調査表（チェックシート）

※以下の項目は、団体補助金のみ記述。

団体補助金	団体の設置および活動目的が、補助事業からみて整合しているか。また、団体としての活動実態があるか。	評価	評価の理由
		はい	事業報告書等から確認できる。
	補助事業の内容と成果について、交付団体においても対外的に情報公開を実施しているか。	評価	「はい」→情報公開の手法等について具体的に記入。 「いいえ」→実施できない理由と今後の見通しを記入。
		はい	事業活動計算書、資金収支計算書、事業報告書を法人ホームページで公開している。
	団体内で、補助金の使途や決算などの監査機能が有効に機能していて、透明性等をもって運営されているか。	評価	「はい」→どのような監査手法で実施しているか記入。 「いいえ」→機能していない理由と今後の見通しを記入。
		はい	収支決算を整理しており、補助金の用途については詳細に記載している。 法人監事が監査報告書を作成している。
	補助金交付団体の自立性を促すことなどから、運営補助から事業補助へ移行を図っているか。	評価	「運営補助」の場合、事業補助に移行できない理由と今後の見通しを記入。 ※混合補助で実施している場合は、割合が大きい方を選択してください。
事業補助			
市職員が補助金交付団体の事務を行っていないか。（行っている場合は合理的な理由があるか。）	評価	「行っている」の場合、合理的な理由を記入。	
	行っていない		
繰越金	交付団体の補助事業会計において、補助金額以上の繰越金を計上している。 （※複数団体ある場合は、各団体を一覧化したものを別紙にて提出のこと）	評価	具体的な根拠指標
			直近決算額における補助金額 6,200,000 円 繰越金額 〇 円 { うち補助事業会計分 円 うち団体独自会計分 円
		繰越金額が生じた具体的な原因について記入。	
	上記設問において、「はい」の場合、補助金の減額ないし、休止などの必要な対策を考えている。	評価	「はい」→具体的な対応策について記入。 「いいえ」→対応できない理由について記入。

補助金等調査表（チェックシート）

（３） 国県要綱・近隣市補助金との比較を通じた評価

引き続き補助金の交付をしていく。

（４） 補助金の課題

現在、事業の履行期間を暫定的に令和7年度末まで延長している。子どもの居場所づくりと相談体制拡充とあわせて、つどいの広場の実施場所や委託化などについて、検討する必要がある。

（５） 所属長の総合評価

つどいの広場は、乳幼児及びその保護者の居場所であり、子育てに関する情報交換の場にもなっていることから、地域における子育て力の向上や子育て世帯の支援を図るといった意義を十分に果たしている。
今後については、子どもに関する相談体制の充実を図るなど、必要とされる機能の見直しも含め、さらに多くの方が利用しやすい居場所となるよう、実施場所や委託化などについても検討を進めていく。

（６） 補助金の今後の方向性

☐ 現行のまま継続
☒ 見直しをしたうえで継続
☐ 廃止
☐ その他

その他の内容

現行 継続の 理由	
-----------------	--

見直しの時期	令和9年度
見直しの 内容	子ども・子育てに関する地域拠点を整備する中で、委託化についての検討を行う。

廃止の時期	
廃止の理 由	